

跡・遺品、労働運動、小作争議などの調査・保存が不十分光を当てて欲しい。

【答】(教育長) 有形文化財は、文化財保護活用事業で保全、修復に努めたい。

問 「広報そうさ」連載の貴重な「匠瑳探訪」を冊子化して普及して欲しい。(答弁なし)

武田光由議員(公明党) 問 読書通帳の導入について

【答】(教育長) 議員御指摘のとおり、パソコンやスマートフォンなどのデジタル機器の普及が進み、近年、子どもたちの活字離れが進んでいると言われている。子どもたちの読書活動推進のため、より多くの子どものために図書館を利用し、本に親しむ動機づけとして読書通帳は有効な手段であると認識している。預金通帳方式ではATMのような端末が必要となるが、シールを貼る方式であれば比較的容易に導入できるものと思われる。近隣では、銚子市と香取市がシールを貼る方式を導入しており、大変好評であると同様である。今後、県内の導入自治体を参考に検討していきたいと考えている。

環境衛生問題

【答】(市長) 既存の施設を改修してなるべく費用のかからな

【問】中継処理施設は既存の施設を改修し、それで造って運営する。聞くところでは、全部解体して造り直すというところと変わったらしいが、組合議員に説明もない、市長は知っているのか。

【答】(市長) 既存の施設を改修してなるべく費用のかからな

い形で造るということでスタートしたが、全部新規で建て直した方が20年間の期間の中で管理運営費も含めると安くなるかもしれないという話が出て、それならばコンサルに研究してもらうこととしたが、新しく3施設を全部造るという内容があまりにも高額な数字だった。このため、コンサルから説明をさせなければいけないということ、首長会議で話合いが進められている状況。

【問】市長が言ったことをトータル的に見るとまた過大な予算が出るから負担割合を急遽決めないと、これは納得しなくなるだろうということの方

【答】(市長) 最終処分場の視察をしたときまでは、中継施設は全く現状計画のままの予算だった。その後、コンサルから数字が出た、その数字を見たときに、旭市、銚子市はこういう中継施設は必要ないというふうな首長の判断、考え方も出た。

【問】諸問題について、遅々として報告が遅いという場面も感じている。

【答】(市長) 現状は、広域の事業のスタートに戻らざるを得ないような状況になっている。

【問】大木傳一郎議員(日本共産党) 再生土埋め立て禁止条例制定1周年にあたり、効果、現状報告を求める。

【答】(市長) 制定後、再生土による違反埋め立てはない。

政治姿勢 大木傳一郎議員(日本共産党) 問 中国の香港とチベット民族の弾圧は許せない。米国の黒人差別も民主主義への挑戦で抗議すべき。

【答】(市長) 平和的話し合いで早期に事態収拾を望む。

財政 田村明美議員(日本共産党) 問 新型コロナ対応地方創生臨時交付金の活用を伺う。公

【答】(市長) 交付金の活用は、感染症対策本部で検討中。

災害対策 林明敏議員(市民クラブ) 問 公共施設の耐震について

【答】(病院事務局長) 市民病院では、平成8年度に耐震診断を実施しており、その結果、昭和46年建築の内科の病棟と管理棟などが配置されている建物がある。値0.5というところになっており、大地震の際には倒壊または崩落する危険性があるレベルとされている。これまでのところ耐震改修は実施していない。

【問】コロナ禍における避難所の対応について伺う。

【答】(市長) 作成中のマニュアルの中で、滞在するスペースとして1区画4㎡とし、2名程度で活用する。また家族ごとに2メートル程度の間隔を空け、必要に応じてテントを活用する。また気温にかかわらず定期的な換気に努める等を記載する予定。

【総務課長】ベッドについては、段階別関係の事業者と調整を進めているところである。

【問】災害時、のさかアリーナのシャワーの提供について。

【答】(生涯学習課長) のさかアリーナのシャワー室のボイラーは現在壊れており、使用できない。災害におけるシャワー室の活用は大変意義があるものと考えている。早急に改修を進めていく。

【宮内康幸議員(新政会)】 問 今後は台風や豪雨による土砂災害などが発生しやすい時期になるが、避難所を開設する場合の感染症対策に万全を期すことが重要となり、その対応を伺う。

【答】(市長) 千葉県が作成した避難所運営の手引として、新型コロナウイルス感染症への対応編や他市の避難所運営方針を参考に本市の運営方針を作成中であり、今月中には完了する。

【問】新たなマニュアルを踏まえ、実際に運営される方々にも周知が必要では。

【答】(市長) 本市の避難所運営方針は作成中で、今月中に取りまとめを完了する予定である。また、備蓄品の対応については、密集した環境下での避難生活により感染リスクが高まることとが予想されることから、感染防止対策に必要な衛生用品等の整備に係る費用を6月補正予算として先議をお願いしていたところである。市としては、避難所における新型コロナウイルスの感染防止対策を早急に進め、避難者の受入れ体制をしつかり整えたいと考えている。

産業振興問題 荻谷進一議員(二十一世紀の会) 問 家畜保健衛生所の移転について、今後改めて説明、地元との協定を結ぶとか、対応していくことを、県農林水産部長が言っていたが、その後、どうなっているのか。

【答】(産業振興課長) 県畜産課に今後の説明会開催予定を伺ったが、事業の進捗等を踏まえて開催時期を検討したいとのことだった。

【問】市長も地元の理解を求めたいということは元来言っていた。問題解決が進んだ上でやって頂きたいと思う。(答弁なし)

移住定住 宮内康幸議員(新政会) 問 新型コロナウイルスの感染拡大を機に、テレワークの導入など働き方も変わり都市を離れて地方への移住を検討する人が増えていると聞く。改めて移住・定住施策の充実を図りPRすべきと考えるがいかがか。

【答】(市長) 本市では、転入者マイホーム取得奨励金交付事業や定住促進空き家バンク事業等を実施。また移住者の体験談や移住・定住施策を掲載した本市オリジナルの移住パンフレットを各種イベント等で配布するとともに、市のホームページや広報そうさ等を活用して情報発信やPR活動に取り組んでいる。

【問】今後テレワークなど更に進むと思うが、後押しするような取組や環境整備などについて。

【答】(企画課長) 光ブロードバンドを市内全域に整備してテレワーク推進の環境整備を図っている。空きスペースなどをサテライトオフィスやコワーキングスペースに活用している団体もあり先進事例を調査研究していく。

一般質問の質問項目

林 明敏 議員

● 新型コロナウイルス対策について

● 防災対策について

● 市の特産品について

● 農業について

● 介護について

宮内 康幸 議員

● コロナ禍による学校教育への影響について

● コロナ禍における避難所運営について

● 緊急事態宣言解除後の地域経済活動の支援について

● コロナ収束後の移住定住施策について

武田 光由 議員

● 災害対応について

● 図書館の運営について

● 3歳児健診事業の視力検査の改善について

田村 明美 議員

● 新型コロナウイルス対策における、市民生活支援策について

● 新型コロナウイルス対策における、事業者、勤労者支援策について

● 「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」等の歳入活用について

荻谷 進一 議員

● 市民病院について

● 広域ごみ処理施設について

● 匠瑳市ほか二町環境衛生組合ごみ処理施設について

● ふれあいパーク八日市場について

● 家畜保健衛生所について

● 新型コロナウイルス対策における市内及び近隣医療機関の状況と、今後の課題、展望について

● 匠瑳市民病院の役割と課題、方針について

● 新型コロナウイルス対策を考慮した、市教育委員会の当面の方針計画について

● 新型コロナウイルス対策を考慮した、市の行政運営について

大木 傳一郎 議員

● 政治姿勢について

● 新型コロナウイルスからの教訓と第2波に向けた対策について

● 施行1周年迎えた「再生土埋め立て禁止条例」の効果。現状と対応について

● 学校給食の無償化

● 市民病院の今後の在り方について

● 匠瑳市の貴重な歴史文化の継承について